

令和3年度第3回さぬき市男女共同参画推進協議会 会議要旨

- 1 日 時 令和4年2月25日（金）14：00～15：30
- 2 場 所 辛立文化センター
- 3 出席者 【委員】金子委員 小松委員 多田委員 筒井委員 山下委員 山田委員
【事務局】増田市民部長 山田課長 田村係長 山本主任主事
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議次第
1 開会
2 会長あいさつ
3 議事
 (1) 令和3年度事業報告について
 (2) 令和4年度事業予定について
 (3) その他
4 閉会
- 6 配布資料 資料1 令和3年度 男女共同参画推進事業概要
資料2 令和4年度 男女共同参画推進事業概要 外

7 議事の経過及び発言要旨

発言者	意見概要
	＜ 開 会 ＞ (14:00)
事務局	<p>本日は、ご多忙の中、ご出席いただきありがとうございます。只今から令和3年度第3回さぬき市男女共同参画推進協議会を開会します。はじめに、さぬき市男女共同参画推進協議会 筒井会長からご挨拶いただきます。</p> <p style="text-align: center;">＜会長あいさつ＞</p>
事務局	<p>それでは、会議の進行は、さぬき市男女共同参画推進協議会規則に基づき、筒井会長にお願いします。</p>
会長	<p>まず、会議の公開についてです。本会議は、「附属機関等の委員の構成及び会議の公開に関する指針」に基づき、「原則公開」となっています。非公開の案件がない限り、公開とすることとします。まず、傍聴申請について、人権推進課長から報告してください。</p>
事務局	<p>現在のところ、傍聴希望はありません。今のところ傍聴の希望はありませんが、会議途中で傍聴希望があった場合には、随時許可することとします。</p>

会長	はじめに、本日の会議についてですが、新型コロナウイルス感染防止対策として短時間で行いたいと思います。終了予定時間を15時30分頃としたいと思います。ご協力をお願いします。早速ですが、議事1「令和3年度事業報告について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p><説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業全体について ・キャリア教育事業について ・夜の図書館イベントについて ・男女共同参画推進協議会委員広報執筆について ・市商工会青年部女性活躍推進セミナーについて
会長	事務局からの説明が終わりました。意見・感想のある方は、挙手をお願いします。なお、一人ひとりの質問には、事務局はその都度、お答えください。
委員	女性活躍推進セミナーのアンケート結果について、一部言葉遣いに気になる箇所があった。言葉遣いには、人権意識が表れる。若い世代にも男女共同参画が浸透していないと感じた。このことについて、事務局として、今後どのようなアクションを起こそうと思っているか。
事務局	取組を始めて、言葉遣いや意識等、男女共同参画を推進する側と現場とのギャップが考えていたよりも大きいと感じたのは事実である。しかし、男女共同参画や女性活躍を我が事と感じてもらい、本質的なものとするためには、一方的ではなく、まず相手方に正直な思いを話してもらうことからスタートする必要がある、と考え、以降約1年、対話と納得感を大切にしながら取組を進めてきた。はじめは『『女性活躍』が一体何かわからない』と話していた方も、「身近なところから取組みたい」と、発言に変化があった。ご指摘のとおり、言葉遣いは意識が大きく反映される部分である。今後も粘り強く、取組を続けていきたいと考えている。
委員	例え多数の人が遣っている言葉だとしても、それで傷つく人がいることを理解してほしい。言葉遣い一つで暴力にもハラスメントにもなる。昔は許容されていたことが、許容されない。そういう社会が構築されつつあることを理解し、意識的に言葉を遣うことが必要である。
委員	参加者の青年部員に女性はいるのか。
事務局	現在、男性のみである。
委員	私自身の経験である。以前、若い知人男性と話していたとき、彼が、昔ながらの固定観念に基づいた考えをしていることに驚いた。若い世代であっても男女共同参画の意識が浸透していないのだと感じた。今回、正直な気持ちを話す場を設けていることは評価できると思う。少しずつの歩みになるかもしれないが、今後もポイントを押さえながら取組を継続してほしい。
委員	女性活躍セミナーの内容について、わかるものはあるか。
事務局	講義内容・資料の共有はできないが、提供できる情報については後ほど共有する。

委員	女性活躍をテーマにしたセミナーで女性がいなかったのはなぜか。
事務局	今回の取組は、男女共同参画プラン基本目標2－基本方針3－主要施策2「事業所等における女性活躍推進の支援」の一つとして、これからの事業所経営を担う若い世代を対象としたものである。試行的に商工会青年部への取組から始めていることから、今回は、現在青年部員である男性のみの参加となっている。今後取組を広げていきたいと考えている。
委員	参加者が、「自社ではこのように活躍する女性がいる」、「あの地域ではこのように女性が活躍している」といったことを認識した上でセミナーを受ければ、知識がより深まるのでは、と思った。固定観念という部分において、以下、以前聞いた話である。手に障害のある方が、「支援をしてくれる人に対しお礼をしようとしたら、ひどい言葉とともに拒否をされ傷ついた」というものだった。私は大変憤りを覚えた。一方で、彼女はこうも言っていた。「孫が、私の手を見て『あっ』と声を発した自分の友人に向かって、『そんなこと言うなら遊ばない。帰って』と怒った。孫の想いがとても嬉しかった。そういう社会になってほしいと思った」とのことだった。考え方は人それぞれだが、相手を全く違うもの、と決めつけるのではなく同じ目線で考えていけたら、少しでも先に進めるのではないか。今後の取組に期待している。
委員	他委員の意見を聞き、皆で考えるきっかけを得たことを嬉しく思う。私も言葉の遣い方は気になっている。身近に遣われている言葉や事柄を安易に引用するシーンが、大人にも子どもにもある。委員から出た意見をどう取組に反映していくのか、難しいところがあると思う。例えば、「あなたの言葉は不適切だ」とズバリ伝えることにより、相手が「それでは何も言えない…」と黙ってしまうと、せっかくの取組を進められなくなる可能性がある。どのように発信し、相手に考えてもらうのかについて、しっかり考えていかななくてはいけないと感じた。
委員	話は変わるが、先日、新型コロナウイルス感染症についてのテレビ番組を見た。妊婦が感染した事例が紹介されていた。無事出産をしたが、母親はそのまま入院することになったため、2か月間父親が一人で育児をした、というものであった。このとき私が気になったのは、「父親は育児休業制度を利用できたのか」ということだ。この部分については番組で触れられてはいなかったが、仮に自分や自分の息子がその立場だったらどう思うか、と考えた。今の経営者はそのような意識を持っているのだろうか、と。一人ひとりが、我が事として考えていく必要があると感じた。
会長	続いて、広報記事を執筆した委員は、感想を聞かせてほしい。
委員	孫にプレゼントを贈ったときのことを題材にした。性別を意識していたわけではないのだが、男孫が乗り物を好きだったことと、女孫には自分が好きだった人形をプレゼントしたかったため、それぞれを選んだのだが、孫が私の想定と違う方で遊んでいた。私は男女共同参画推進協議会委員や人権に関する仕事を長年してきて、自分では意識は高いほうだと自負していたが、まだまだ無意識の偏見があることにショックを受けた。自分への反省を促す意味と、身近な事例でわかりやすいかな、と考えてこの題材で記事を書いた。
会長	次に、議事2「令和4年度事業予定について」、事務局から説明をお願いします。

事務局	<p><説明> お手元に、事前に送付した【資料2】、本日配布の【資料2-2】をご用意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業全体について ・男女共同参画プラン策定スケジュール概要について ・令和5年度以降の男女共同参画社会作品コンテスト賞の継続如何について
会長	事務局からの説明が終わりました。先ほど、事務局から問いかけのあった令和5年度以降の作品コンテストの賞について、何か意見のある方は、挙手をお願いします。また、その他、質問・感想のある方も挙手ください。なお、一人ひとりの質問には、事務局はその都度、お答えください。
委員	受賞者の励みになるという面は確かにあるが、差をつけない、順番をつけないという観点により人権推進課が行っている人権作品募集では賞を設けていないことから、男女共同参画社会作品コンテストにおいても、今後の賞のあり方を再考してはどうかと思う。
委員	私は、続けたほうがよいと思う。
会長	様々な意見があると思う。このことについては、事務局に一任したい。作品数を増やすことや、テーマを絞ることも考えることが必要ではないか。
委員	他のことについて、1つ質問である。意識調査業務の委託業者選定について、選定はどのようにするのか。入札か。
事務局	プロポーザル（提案型）である。
委員	個人の希望であるが、女性が活躍しているかどうか、SDGsへの理解があるかどうかを選定の際に考慮するといいいのではないか。アンケート実施について新たな視点やヒントを得られるのでは。
事務局	実施時の参考としたい。
会長	次の議事に移ります。 議事3「その他」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p><事務局説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年間にわたり、熱心に議論いただいたことに感謝する。 ・現在、次期協議会の組織化に向けて準備を進めている。専門分野からの推薦委員6名、市民からの公募委員6名の合計12名体制を予定している。推薦委員については、労働関係（連合香川）、商工業関係（さぬき市商工会）、学校関係（さぬき市立学校長）、人権関係（さぬき市人権擁護委員）、子育て関係（さぬき市子ども・子育て会議委員）のほか、香川大学男女共同参画推進室に推薦を依頼している。 ・公募委員については 新年度に募集を開始する予定である。 ・委員任期を終えるに当たり、この2年間で振り返って思うことや、各自今後どのように男女共同参画に関わっていきたいか、さぬき市の男女共同参画の未来について思うことなど、お一人ずつ意見をいただきたい。

会長	<p>では、今事務局から問いかけのあったことについて、委員の皆さんは一人ずつ発言をお願いします。</p>
委員	<p>業務の関係でなかなか協議に参加できなかったが、男女共同参画、女性活躍をテーマに自社でも取組を進めてきた。社では、去年の12月に取組宣言を出した。その過程で女性にアンケートを取った。その結果を見て感じたのが、男性も女性も同じようなことを課題と感じていることだった。女性の課題は、女性だけの課題ではない。女性活躍は、取組のきっかけとしてはいいかもしれないが、男性も女性も含め様々な人がともに改善していける、と信じて取り組んでいるところである。今後は、私自身、男女共同参画への理解をより深めたいと考えている。</p>
委員	<p>「男女共同参画プランとは何?」、「男女平等のことなのかな」、というところからのスタートだった。自身の職場は、男性だから女性だからというものが比較的少ないと思うが、全く無いかというとそうではない。私自身にも「男性だからこれくらいしてよ」と思うてしまうことがあった。一人ひとりをちゃんと見て相手を理解することが大切だ。大人も子どもも、その背景も含めいろんな考え方を背負って、その人の姿がある。いろんな視点から自分自身を振り返ってみることをこれからも続けていきたい。本協議会については、とても刺激的であった。様々な意見が出て、「そうか」、「そんな考え方もあるよね」という気づきをたくさん与えてもらった。</p>
委員	<p>知らなかったこと、改めて考えさせられることがあり、大変勉強になる2年間であった。自分がボランティアや仕事で関わる子どもたちとの向き合い方を再度考えることができた。今までの自分の固定観念に気づいたり、男性がやるもの、と思っていたことにもチャレンジしてみようと思えるようになった。</p>
委員	<p>私は人権擁護委員もやっている。市内の人権擁護委員は女性の方が多い。話の聞き方が、男性女性では違うのかな、と感じることがある。女性は大変ソフトに話される。自分の話し方を反省するばかりだ。また、日頃のニュースを見るに、もし重要な政策決定の場に、女性がいたら、結果は変わっていたのかな、と思うことがある。いろいろな人と話す中で、自分の反省点が次々と浮かび上がってくる。人によって見方は様々ということを勉強させていただいた。</p>
委員	<p>私は、本協議会委員の3期目が終了したところだ。1期目の時は、話の内容が全くわからなかった。現委員は1期目から、自身の意見を発言されていて感心している。この協議会では、新たな出会い、新たな発見があった。委員どうし様々に意見を交わせたことを嬉しく思う。より多くの市民が、このように意見を交わせる場があればよいと思う。</p>
委員	<p>この場で意見を交換することにより、たくさんの気づきを得られた2年間だった。長年、本協議会委員をしているが、初めの頃は、言葉にこだわるのが好きではなかった。「言葉にこだわることの何が重要な。細かいことを言うから男女共同参画に対する抵抗感を生むのではないか」そう思っていた。推進していこうとする側と、そうでない側の差が大きかったように思う。やっと「女性活躍」などの言葉が出てきて、女性も発言していいという土壌ができてきたのかな、と感じる。一昔以上前は、マイクを向けられないと女性が一言も発しないまま、その会議が終わるということが多くあったと思う。女性が発言できるよい時代になった。しかし、私自身、刷り込まれた</p>

<p>会長</p>	<p>性別役割分担意識、固定観念がたくさんある。例えば、「良妻賢母」、「肩書や形式、様式を大切にしなければならない」など。自分はその必要性を何一つ理解できないことについても押し付けられていた。感受性の強さ、好奇心の強さに救われた2年間だった。</p> <p>皆さん、ありがとうございました。さて、お手元に内閣府作成の「無意識の思い込みチェックシート」をお配りしていますので、皆さんぜひやってみてください。最後に、増田市民部長にあいさつをお願いします。</p> <p><市民部長あいさつ></p>
<p>会長</p>	<p>委員の皆様には2年間にわたり、活発な議論をありがとうございました。以上で、令和3年度さぬき市男女共同参画推進協議会を閉会します。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">< 閉 会 > (1 5 : 3 0)</p>